

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture

Fourth

2023 Sep. 29

4月に比べて幼くなった



昨日は学習発表会及び懇談会に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

それぞれのシーンごとに大きな拍手が起こり、時に歓声や笑い声の入り混じる中、とても温かい雰囲気の中で発表は行われました。

「上から下に与える評価」ではなく「素晴らしいことを共に喜び合うこと」が「褒める」という言葉の語源であることを以前に通信で記しましたが、昨日はまさに子供たちの成長を喜び合う暖かな視線が随所で感じられました。

子どもたちの伸びやかな表情や演技は、そうした確かな支えがあればこそだということを、改めて感じていたところです。

発表が終わった後に、色んなお家の方から異口同音に次のことを聞かせてもらいました。

「あんなにノビノビと演技ができるんだなぁと思いました。」

「力を出し切っている感じが伝わってきてとても驚きました。」

「びっくりするくらいに元気が良くて見ているこっちも笑顔になりました。」

総じて、クラスみんなの突き抜けるような明るさや伸びやかさをたたえてくれる言葉が並びました。

そうした感想の数々を聞いて、私は改めて思いました。

みんな、幼くなったなあ、と。

もしかすると、この言葉を聞いてマイナスのイメージを浮かべる方もいるかもしれません。

でも、これは担任としての明らかな実感です。

みんなは、4月に比べて、幼くなりました。

教師の間で格言のように言われている言葉があります。

「良いクラスは、子どもが幼くなる。」

この言葉の意味について考えてみます。

子どもたちは小学校の学び舎の中で6年間を過ごします。

6歳から12歳の間には、劇的な変化が起きたことでしょう。

特に、高学年が近づいてきた頃辺りからは、一般的に「思春期」を迎える年齢であると言われていています。

こうした時期に、チームの状況が難しくなったりすると、往々にして次のような姿が見られるようになります。

○警戒心が強くなる。

○行動や発言を控えるようになる。（感情を表に出さなくなる）

○攻撃性が強くなる。（暴言や暴力）

○他人に必要以上に近づく（もしくは壁を作る）ようになる

その姿が思い浮かぶ人も多いのではないのでしょうか。

ちなみに、思春期には大きな特徴が4つあります。

その一つが、「他人の目を気にするようになる」ことです。

客観的な見方が育ってきた証でもあるので、これ自体は悪いことでは決してありません。

健全な成長過程だといえます。

しかし、過度に警戒心を強めたり、行動や発言を抑制したり、相手を攻撃して自分を守るようになると、人間関係はどんどん難しくなっていきます。

ただでさえ、日本は同調圧力の強い文化をもつ国です。

さらにいえば、脳の作りの面からも海外の人に比べて不安傾向の強い人が多いことも分かっています。（気になる方は『セロトニントランスポーター』で調べてみて下さい。）

一見すれば、表情に感情をあまり出さなくなったり、行動や発言が減ったりすることを「大人に近づいてきた」とみる人は多いだろうと思います。

「思春期だから仕方ないね」と捉える人もきっと少なくないはずです。

しかし、他者との関係が良好になってきたり、チームの状況が素晴らしいものになってくると、子どもたちは別の姿を見せるようになります。

例えばこんな姿です。

- はつらつとした挨拶が飛び交うようになる。
- 新たな物事にチャレンジすることが増え、失敗してもその壁を乗り越えて更なる挑戦に向かうことが出来るようになる。
- 相手を攻撃して自分の居場所を作ることをしなくなる。
- 表情が豊かになる。（屈託なく弾けるようにみんなで笑い合える）
- 良い意味で人懐っこくなる。

こうした姿こそが、まさに「幼さ」の象徴するところです。

イメージとしては、小学校低学年や幼稚園あたりを思えばいいでしょう。

小さい頃、当たり前のようにできていた元気な挨拶や豊かな表情が見えるようになるのと、人はそれを「若い」と形容するのだと思っています。

事実、4-1に来られた大勢の先生方が、次のように言っていました。

「みんな、とても人懐っこいですね。」

「普通、この時期にこんな風に心開いて人と話せませんよ。」

「朝一番から素晴らしい挨拶が飛び交っていますね。」

「みんなとっても素直で心が柔らかいと思いました。」

これらの言葉は、いずれも私の心に強く響きました。

そして、担任の実感としてもそれは当てはまっています。

4月5月のスタート時よりも、ずっとずっと、みんなは幼くなりました。

それは、「良いクラス」に一歩ずつ近づいてきた一つの証であると思っています。

過度な防御体制を敷いたり、不安感や恐怖感の強い中では、今回の発表会のような姿はまず生まれてきません。

そうした意味でも、このクラスを土台からしっかりと支えてくださり、「安

心感」や「温かい応援」をお家の方々が日々贈ってくださっているからこそ、昨日の発表会のような伸びやかな姿が生まれたのだらうと思っています。

本日で第2クォーターが終了となりますが、改めて今までの時間の中でたくさん励ましやサポートをいただき、誠にありがとうございました。

春が過ぎて夏が終わり、また一つ季節が変わろうとしているこの時期。

約10日間のゆったりとした休みのひと時の中で、ここまでの成長や頑張りについて改めて振り返ったり、その変化や成長を共に喜び合う時間にしてもらえたらと考えています。

第3クォーター以降も、一歩ずつ成長の歩みを続ける子どもたちの背中をそっと押し続けられるよう、担任団一同また力を尽くしてまいります。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、教室で紹介しているコンサートや発表会の情報を載せておきます。

岡崎市で来週末に開催される芸能祭に今野さんがバレエで出演するそうで、私もぜひ見に行きたいと考えています。

バレエ以外にもいろんな芸術の秋を楽しめるプログラムが満載なので、興味のある人はお家の人に相談してみましょ。

岡崎文化協会
第76回 岡崎市芸術祭参加事業

文協 芸能祭

第26回

2023.10/8(日) 開演 9:30~17:30
岡崎市民会館あおいホール

わくわく体験会 9つの文化のおもしろさを体験しよう!

■ 楽曲/能/吟刺詩舞/尺八/写真/フラダンス/表具/洋舞/三味線

場所 ● 甲山会館 (岡崎市民会館内) 時間 ● 10:00~15:30

7. 巨匠展 渡辺民謡会 11:40

● 津軽じよんがら節組曲
渡辺 傳次郎、渡辺 祐紀和、清水 和紀博、梅村 和字紀、伊藤 傳真、矢澤 和紀明、加納 和紀彦、近藤 和紀登、笠井 和幸紀、岡田 傳智、加藤 和紀和、若藤 和幸紀、村瀬 和幸紀、伊藤 和幸宇、丹下 郁夫、菅原 敬二、笠口 司、伊藤 希音

8. 各団 岡崎市民合唱団 12:00

● 混声合唱組曲「水のいのち」より
【雨】「水たまり」
● 「ホームソングメドレー-アメリカ編」より
【懐かしの我がケンタッキーの家】「夢路より」【私の我が家】
(指揮) 兼松 正直
(ピアノ伴奏) 秋山 慎子
(ソプラノ) 渡辺 薫、天野 洋子、井川 麗子、磯部 紗子、太田 円、柏木 真弓、加藤 美代子、栗田 恵子、後藤 潤世、佐々木 秀実、鈴木 由希子、田地 里美、石橋 恵子、水田 一江、中根 真由美、中野 康江、平賀 洋子、藤田 由美、相合 弘美
(アルト) 天野 恵子、磯村 由美子、伊藤 まさみ、小幡 裕子、寛 和子、神谷 百代、近藤 雅子、志賀 くに子、高橋 裕子、多賀谷 文子、天白 寛子、丸本 加恵子、村谷 寛子、山崎 紀美子
(テナール) 伊藤 優、大原 正義、後藤 雅志、鳥居 孝佳、林 能成、前中尾 康彦、榎木 康孝、丸本 洋之助、山崎 一夫、渡辺 辰徳、惣川 真吾
(バス) 安藤 保、伊藤 秀隆、加藤 彰信、栗田 哲吾、永田 哲夫、三浦 悠、安田 純治、山本 敏雄

9. 民謡 藤本流風歌の会 12:20

● 豊島餅つき唄 ● 佐渡おけさ ● 最上川舟唄 ● ひなぶり三番唄
藤本 秀雄文、宮本 美智代、磯村 かず子、山本 隆子、石川 ツネ子、永田 恵子、兼政 晩美、深田 弘、斎藤 葉子、岡田 礼子、鈴木 登志子、鈴木 八重美、黒崎 美穂、黒崎 一穂、小幡 シイ
(尺八) 久野 義孝

10. 日本舞踊 日本舞踊西川流喜美和会 12:40

● 夕暮 ● 観のうぐいす ● さくら道成寺 ● まつり ● 外記狼
太田 紅英、中田 旺宏、青山 真白、河合 希衣、西川 和鼓

11. 各団 アートバレエ 13:00

● 卒業舞踊会より
「ワルツ」士官候補生の到着・宴の始まり・大鼓の踊り・おちやめな精・下級生の踊り・宴のキュービッド・フェツテ競争曲・コーダ
(カルテット) 編舞 衣舞
(ソフィア) 野村 優月
(士官候補生) 磯崎 陽希、村上 蒼、栗田 渡大
(卒業生) 小林 詩歩、石川 美那、野田 紗梨奈、太田 千陽、加藤 潤希、市川 唯彩
(大鼓の踊り) 的場 天希、柴田 裕美、太田 有紗
(おちやめな精) 成田 理衣、垣崎 瑠花
(下級生) 伊藤 衣菜、伊藤 心菜、高木 杏、三浦 翠紗、今野 百華、兵衛 花菜、岩崎 葉月、西馬 百香
(宴のキュービッド) 石原 花奈、芳武 秋奈、今野 叶恵、玉木 吉奈、岸 乙希

それから、少し先の話ですが、先日 Venture fourth で紹介した全盲の歌手・若渚（わかな）さんのライブが豊田市で開催されます。

今度 SOLAN にも来ていただこうかと考えている方でもあるので、こちらも興味がある人はお家の人に相談してみましょう。

CDリリース10周年!!
HOPE LIVE
 心の瞳が映すもの
 若渚のCDリリースから10年!!
 プロデューサーとしてCDの制作、そして「マザー・テニク」を作曲していただいたDAIさんと、「緑玉〜しぜん」を作曲していただいた森源太さんとの記念のLIVE!!

Piano 白神由美子
 Percussion 石川秀一
 シンガーソングライター 森源太
 ミュージシャン 音楽プロデューサー DAI
 全盲の歌姫 若渚

2023年 **11月12日** 豊田市福祉センター
 13:30~15:30 (12:30開場)
 大人 ¥3,000 (当日 ¥3,500)
 中学生以下 ¥1,000 (当日 ¥1,500)
 未就学児 無料

ご予約はこちらから
 スマートフォンでお申込み
 お申し込み後、入場の順番が取次票でチケットを送付致します。
 電話でお申込み 090-8551-7795 (田上・上田)
 FAXでお申込み (記入してこのままFAXしてください)
 FAX送信 0565-46-5483

それから、前のクォーター休みで「口笛番長」などを紹介したところ、多くの子が手に取って読んでみたらしく、休み明けにたくさんの感想が届きました。今回も1冊、おススメの本を紹介しておくので、興味がある人はぜひ読んでみてください。おそらく、私が小学生の頃に最も多く読み返した作品です。口笛番長が気に入った人なら、きっと面白いと感じる作品のはずです。図書館にもあると思うので、読んでみたい人はぜひどうぞ。

最後に、昨日の懇談会で流した日間賀島のダイジェスト映像のリンクも貼っておきます。どうぞご覧ください。

<https://youtu.be/UBj7nt2PXps>

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

